

令和6年度(令和5年度実施事業分)主要事業評価シート						No.	34-3																																							
PDCA	主要事業名	企画展開催事業	部課名	教育部博物館	担当 内線	秋山 23-7173																																								
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 1 - 2 - 2 単位施策： 学びの推進 全体事業期間： 令和 5 年度 ～ 5 年度 全体事業費等： 1,991 千円 会計 一般会計 歳出科目： 09.05.03.10.50																																													
	事業概要等	事業概要： 常設展示の内容を補完する展示事業として、テーマや期間を設けた企画展・館蔵品展等を開催する。企画展では主に他館等から貴重な資料を借用し、館蔵品展では主に当館で収蔵している美術品や一般資料などを展示する。																																												
		事業目的： 郷土の自然や歴史、文化について学び触れ親しむ機会を提供する。市民の生涯学習の推進を図り、地域文化の向上に努める。																																												
		事業内容： 企画展「童話に見る昔の道具」、館蔵品展、知多工芸展、博物館友の会合同展等を開催する。																																												
		問題点・課題等： 学芸員の専門性を活かして展示内容のさらなる充実を図るとともに、講演会や博物館講座など様々な関連イベントで来館を促す工夫を行う必要がある。																																												
	予算額	主要事業とする理由																																												
	1,991 千円	企画展は期間を設けて一つのテーマについて深く掘り下げる展示であり、常設展示とともに博物館の専門的機能である「展示」を構成し、郷土の自然や歴史、文化への理解を深める最も重要な事業の1つである。																																												
	財源内訳	得られる成果																																												
	市費 1,881 千円	郷土の自然や歴史、文化への興味関心を高めることで、生涯学習の推進及び地域文化の向上に資することができる。																																												
	国費 0 千円	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">目標値や目指すべき状態</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">企画展開催期間内入館者数</td> <td>実績値</td> <td>50,669</td> <td>56,369</td> <td>—</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>55,000</td> <td>55,000</td> <td>55,000</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">その他</td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						目標値や目指すべき状態		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	企画展開催期間内入館者数	実績値	50,669	56,369	—	人	目標値	55,000	55,000	55,000	人		実績値					目標値					その他	実績値					目標値				
	目標値や目指すべき状態		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位																																								
	企画展開催期間内入館者数	実績値	50,669	56,369	—	人																																								
		目標値	55,000	55,000	55,000	人																																								
		実績値																																												
		目標値																																												
その他	実績値																																													
	目標値																																													
県費 0 千円																																														
その他 110 千円																																														
D 実績値と得られた成果	決算額	得られた成果																																												
	1,983 千円	「第38回知多工芸展」、企画展「童話に見る昔の道具」、企画展「歴史と伝統 半田の山車祭り」、「第38回友の会合同展」、館蔵品展「全国津々浦々！絵葉書展」の、年間5本の企画展・館蔵品展等を開催した。																																												
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">成果指標</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">企画展開催期間内入館者数</td> <td>実績値</td> <td>53,016</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>55,000</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						成果指標		令和5年度	単位	企画展開催期間内入館者数	実績値	53,016	人	目標値	55,000	人																												
	成果指標		令和5年度	単位																																										
	企画展開催期間内入館者数	実績値	53,016	人																																										
		目標値	55,000	人																																										
C 課題の整理	事業の評価・課題	B 「第9回はんだ山車まつり」にあわせて開催した企画展「歴史と伝統 半田の山車祭り」では、市指定文化財等の貴重な資料を借用して半田の山車文化を紹介したほか、収蔵庫に保管されていた由緒不明の山車関係資料について、詳細を明らかにすることができた。また、館蔵品展「全国津々浦々！絵葉書展」では、展示にあわせて約5,000枚の絵葉書を整理し、デジタルデータ化することができた。																																												
A 課題の解決に向けた	今後の事業の方向性	改善推進 引き続き、地域博物館の特性と学芸員の専門性を活かし、資料を通じて地域の自然や歴史、民俗、芸術等について学ぶ機会を提供していく。展示の内容を充実させるとともに、講演会や体験講座などの関連イベントを充実させることで来館者の興味関心を高め、生涯学習の推進と来館者の増加を図る。また、収蔵資料の整理や調査研究を進め、その成果を館蔵品展や常設展示に反映させていく。																																												
	観点別評価	必要性		有効性		効率性																																								
		①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 大きい	⑦コスト削減 減余地	ない																																									
		②市民ニーズ 高い	⑤成果向上の余地 ある	⑧受益者負担適正化余地	—																																									
	③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無 ない																																												

目標項目（予算計上時に作成）

評価項目（決算時に作成）

予算見積書で活用

主要施策の成果報告書で活用